



岩切市民センターHPはこちら

「子どもの広場(居場所)づくり ボランティアの養成」

岩切市民センター×宮城野区中央市民センター

1 事業概要

岩切小学校は、1000名を超える児童が在籍している仙台市内で最も児童数が多い学校です。地域で生活する子どもたちが安心して遊べる場を創出することで、子どもの居場所を作り、子どもを見守る地域住民のネットワークを形成することを目標にした事業です。



2 令和4年度の活動

岩切市民センター体育館での「子どもの広場であそぼう！」開催の様子

月1回を基本として、岩切市民センターの体育館を会場に「子どもの広場であそぼう！」を開催しました。会場には、岩切市民センターで活動するサークルメンバーなどによる、「からむしストラップ作り(岩切歴史探訪の会)」、「折り紙(折り紙サークル はぎ)」などのコーナーを準備。また、岩切地区民生委員児童委員協議会、岩切地区社会福祉協議会、仙台市シルバー人材センター岩切地域班なども「ボールダーツ」、「バンブーリング」、「オーバルキャッチ」や「輪投げ」のコーナーを運営しました。毎回、約20名のボランティアの方々が集まり、地域の子どもたちが楽しく安心して遊べる場を提供しました。



季節の「折り紙」体験コーナー



“カーリング”ならぬ、オリジナルスポーツ
「バンブーリング」



岩切地域に古くから自生する植物

“からむし”を使ったストラップ作り

令和3年度から全体のチーム名を“岩切子どもの広場ボランティア”と決めて、スタッフビブスを揃えました。着用して活動することで、ボランティア同士の横のつながり意識が高まりました。

3 成果と課題

事業を開始して5年目を迎えました。岩切小学校への広報効果も見られて、「子どもの広場」イベントは、地域の活動として子どもたちに広く認知されるようになってきました。コロナ禍ではありましたが、11月開催までで、延べ100名を超える子どもたちが来場し、子どもの居場所の一つとなりました。



チーム名の入った、ビブスを揃えました！

4 今後の展望

令和5年度以降は、本事業をととして活躍し、つながりのできたボランティアの皆さんが、岩切市民センターで展開される講座の中で講師やボランティアスタッフとして活動していく予定です。子どもたちが安心して過ごすことができるように、地域の子どもたちを見守る貴重な人材として、今後も地域づくりを担っていくことが期待されています。

